

基本データ

- ▶ 設立年月日
平成25年3月10日
- ▶ 構成行政区
ひたち野中央・東端穴
ひたち野西
コモンスタージひたち野
- ▶ 主な活動内容
・ひたち野ふれあいまつり
・防災訓練
 防災施設見学
 避難所運営訓練
・高齢者見守りふれあい
 訪問
・小中学校登下校見守り
・小中学校ボランティア
 活動
- ▶ 構成
区長・民生委員児童委員
子ども会・小中学校
小中学校PTA

☎ 牛久市社会福祉協議会
☎ 871-1295

牛久市(8地区)
地区社協

08 ひたち野うしく小学校区地区社協

子育てしやすい、暮らしやすい街に

ひたち野うしく地区は、市内でも特に人口が増加、発展している地域で、子育て世代が多く転入し、若い世代を中心に核家族が多い街です。新住民世代が多く、隣人大人同士のコミュニティづくりが必要です。

今年で設立10年目を迎えたひたち野うしく小学校区地区社協では、住民同士の交流を深める活動として、「ひたち野ふれあいまつり」を小学校の校庭で毎年開催しています。子どもたちからお年寄りまで一同に集い盆踊りなどで交流を深めています。コロナ禍で中止していますが、再開を皆が期待しています。

また、支援を必要とする人を支える活動として、学区ぐるみの防災訓練を毎年実施しています。小中学校が隣り合っており、特に中学校は避難所としての施設が整っているため、両校の連携した避難所の運営ができるよう訓練しています。高齢者の見守りについては、ふれあい訪問を通して民生委員と各行政区が協力して活動しています。

基本理念…「人・人の笑顔あふれる街 ひたち野うしく」



防災訓練の様子



ひたち野ふれあいまつり

安心安全な街を
みんなで楽しく
つくり続けましょう

会長… 亀田 忠夫

新型コロナウイルス感染時の自宅療養期間に備えて 食料品や日用品の備蓄をしましょう！

- 新型コロナウイルスに自身または家族が感染して自宅療養になっても大丈夫なように、日ごろからの準備が大切です。
- 牛久市では、新型コロナウイルス感染時の自宅療養や地震などの自然災害時の備蓄を兼ねて、最低でも5日分(出来れば7日間以上)の食料品と日用品の備蓄をお願いしています。備蓄の方法としては、レトルト食品などの保存食を日常生活で使用しながら、足りない分を買い足していく「ローリングストック法」をおすすめしています。ぜひ活用してみましよう！
※市で実施していた自宅療養者への食料品や日用品の提供サービスは全数把握の見直しに伴い、9月15日をもって終了しました。
- また備蓄以外にも、あらかじめ、家族や知人などからの支援が受けられるかどうかや、オンラインストアやネットスーパーの活用方法等を確認しておくことも重要です！



市ホームページ▶
「ローリング
ストック法」とは



市内で利用できる
宅配サービス
(一部地域を除く)

カスミ
オンラインデリバリー

カスミ デリバリー 🔍 検索



市ホームページ「宅配サービス
を実施している店舗のご紹介」

牛久市 宅配サービス 🔍 検索



問 防災課 ☎ 内線1683